

令和8年10月14日

消防関連システムにおける個人情報漏えいの可能性について

岩見沢地区消防事務組合が利用する情報配信・緊急通報システムの提供事業者である株式会社アルカディア（大阪府箕面市）がサイバー攻撃を受け、令和8年10月14日15時の同社発表において、当組合が利用するシステムより個人情報が漏えいした可能性があることが公表されました。

現時点では、当組合の登録者の個人情報が実際に漏えいしたかどうかは確認されておらず、サービスの運用にも支障は確認されていません。

1 概要（利用システム）

(1) NET119緊急通報システム

音声による119番通報が困難な方が、スマートフォン等から文字により緊急通報するシステム。

登録者数：19名

漏えいした可能性のある情報：氏名、生年月日、性別、住所、メールアドレス、電話番号、
緊急連絡先

(2) 119ライデン（災害情報配信サービス）

消防職員、消防団員及び関係機関に対し、火災等の災害情報を電子メールで配信するサービス。

登録者数：265名

漏えいした可能性のある情報：氏名、メールアドレス、電話番号、FAX番号

2 今後の方針

両サービスは現在も運用を継続しており、特にNET119は市民の生命に関わる重要な緊急通報手段であることから、現段階ではサービスの利用停止は行わない方針です。

登録者への情報提供及び不審なメール・電話等への注意喚起を行います。今後も事業者の調査結果等を確認し、必要な対応を進めます。